

当センターの斎藤高医師ならびに瀬瀬純一技師が
「第10回茨城放射線腫瘍研究会」にて優秀演題賞を受賞

茨城県内の放射線治療の発展を目的に放射線治療に従事する医師や看護師、技師等で組織される「茨城放射線腫瘍研究会」の第10回大会にて、当センターの斎藤高医師が発表した「子宮頸癌における画像誘導小線源治療の短期治療成績と線量分布解析」と、瀬瀬純一技師が発表した「モンテカルロ計算の放射線治療での活用」が優秀演題賞を受賞しました。

両者の発表は放射線治療の精緻化と安全性の向上に寄与する取り組みとして評価されました。今後とも県内の放射線治療の発展にむけ、大学附属の医療機関ならではの高度な治療の検討とともに県内放射線腫瘍医との連携強化を行ってまいります。



表彰される斎藤高医師



表彰される瀬瀬純一技師